

ユーザー：金属切削加工工場

使用製品：すべり止めコート・グレー

施工箇所：ドア前・屋外コンクリート・スロープ

使用量：1セット未満(2kg)

被着体：コンクリート面

下地準備：二種ケレン(ワイヤーブラシ)後、アセトン脱脂洗浄(テスト施工)

評価：好評

備考：雨天時や冬期／凍結時に従業員の往来時に滑り易く危険なため、テスト施工を実施。  
油汚れが酷かったが、人の往来だけなので“二種ケレン&脱脂洗浄”で剥離も発生せず、好評。



[写真-1群]

## 施工前

切削油や各種油を踏んだ安全靴が往来するので、コンクリート面が酷く汚れていた。

## 二種ケレン

ワイヤーブラシとアセトンを併用し、コンクリートに染み込んだ油汚れを可能な限り除去。

## 下地処理完了



[写真-2]

## マスキング

下地処理前では、油汚れが酷くマスキングテープの粘着性が阻害されてテープを貼ることが出来なかったが、下地処理後はテープを貼ることが可能になった。

紙管ローラー



ポリ容器

ヘラ、コテ

電子天秤



[写真-3群]

すべり止めコートを小分けする際には、  
主剤：硬化剤＝9：1  
の割合で秤量する。



[写真-4]

塗工中

紙管ローラーにて塗工。



[写真-5]

近接画像

ローラーを転がすと、すべり止めコートを引っ張ってきて、その形のまま硬化するので、凹凸面が簡単に形成できる。





[写真-6]

塗工中

すべり止めコートをヘラで押し付けながら  
薄く延ばしてゆく。

左画像に見えるのは、ヘラの跡。

この後に、紙管ローラーを転がすと  
[写真-4][写真-5]のように仕上げるこ  
ができる。



[写真-7]

完了

紙管ローラーにて塗工。

塗布終了後、速やかにマスキングテープを  
除去する。

その後、硬化養生のため放置。

通行は16時間放置後(一晩後)になるので、  
その間は“通行止め”にした。

以上